

幼稚園だより

—10月号—

令和6年9月30日

墨田区立八広幼稚園

園長 金澤 里美



前期の終わりを迎えて

園長 金澤 里美

気温が高い日が続き、なかなか外で遊べなかった9月でしたが、ようやく涼しくなり、子供たちは戸外でたくさん体を動かして遊ぶことを楽しんでます。明日から10月。来週11日は前期の終業式です。今年度も半分の折り返し地点ということになります。

4月に進級してからの半年、年長さんらしい頼もしい姿が増えてきたぞう組の子供たち。園生活の様々な場面で成長を感じています。夏休み前には、園で収穫したイチゴでジャムづくりをしたり、自分たちで調理し、カレーパーティーをしたりしたことで、「自分たちで育てたものを食べる」ことへの関心がとても高まりました。今年は園のプランターで育てた夏野菜、特にピーマンとナスが大豊作でした。最初は「ピーマン苦手。どうしても食べないとだめ？」という声も聞かれましたが、ほとんどの子がみそ炒めのピーマンを、「食べてみたらおいしかった」と残さず食べていました。お家でも「幼稚園の野菜はおいしいんだよ」と話題にしていたと聞き、とてもうれしく思いました。水やりをしながら食べ頃になったナスを見つけて収穫し、「今度はお味噌汁にしてください！」「明日はピーマンができるからナスと一緒にみそ炒めをお願いします」というリクエストまでしてくれていました。気温が下がってきて、最後のピーマン、ナスの生長がゆっくりになってきているのを「どうしてだろう？」「最後にもう1回食べられる？」と毎日観察している子供たちです。

また、以前は、苦手と感じるとやってみる前にあきらめてしまっていたことにも、自分なりのめあてをもち取り組んでみる姿、できるようになるまで粘り強く繰り返す姿が多く見られるようになったことにも成長を感じます。ぞう組の子供たちが八広幼稚園で過ごすのもあと6ヶ月となりますが、後半の半年間も、毎日の遊びや生活を充実させ、子供たちが様々な経験を積み重ね、成長できるよう教育活動を進めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

【10月のねらい】

ぞう組

- 学級の皆と一緒に活動を進め、気持ちを合わせる心地よさや、やりとげた満足感を味わう。
- 自分なりにめあてをもち、様々なことに根気よく取り組む。